

◎伊勢志摩サミット記念館(仮称)の設置について

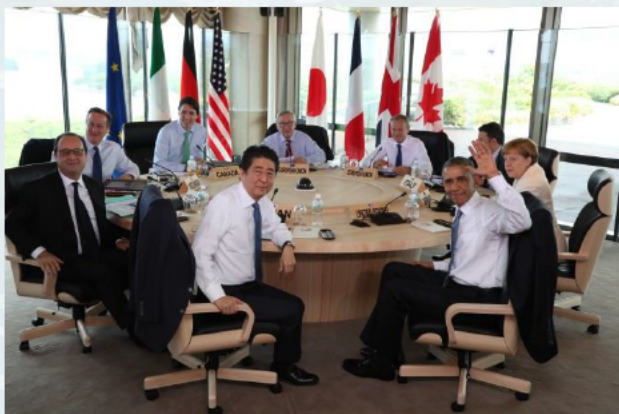
伊勢志摩サミットを記念し、レガシー(資産)を次世代に引き継ぐ場として設置する「伊勢志摩サミット記念館(仮称)」について、現在の状況をお知らせします。

場所 : 近鉄賢島駅2階 約290㎡
(志摩市阿児町神明747-17)

設置時期 : サミット開催後1年以内
(現在の予定としては、平成29年5月下旬に内装・展示工事完了、オープン)

機能概要 : 伊勢志摩サミットの概要を写真、映像、現物等で展示するとともに、賢島を起点とした周遊観光のための情報発信機能や次世代を担う子どもたちの学びの場を創出する機能を有するものとします。また、来訪者に対する飲食及び物販の提供を記念館と一体的に行うことで、駅及び記念館利用者の利便性を満たす空間を創出します。

展示概要 : サミット当日の雰囲気を感じていただくため、サミットで実際に使用した円卓や贈呈品を展示するとともに、国際メディアセンターアネックスで使用された部材(檜柱、木製簾、木製黒壁)を記念館において使用します。



サミットで使用した円卓・椅子



カップ&ソーサー(G7首脳等に贈呈)



文箱&真珠付きボールペン
(アウトリーチ国首脳等に贈呈)



贈呈品と共に贈った
ウエルカムメッセージ

これ以外にも、11月27日に限定公開した**G7首脳等のサイン**も展示予定。

子どもたちにとって魅力的なものとなるよう、体験型の要素も取り入れていきます！

設置期間 : 次回、日本でサミットが開催されるまでを予定

◎「海外への情報発信に係る報告会」を開催しました

県民会議では、伊勢志摩サミットを千載一遇のチャンスと捉え、全力で三重県の情報発信に努めてきました。

今回(12月1日)の報告会は、その中でも、海外への情報発信にかかわる取組(プレスツアーなど)で得た実績やノウハウなどについて県内関係者(県、市町、商工団体、観光協会等)と共有することを目的に開催しました。



参加者の声

海外メディアを呼びたいと思ってもどうしていいか分からなかったが、具体的で現実的な話が聞けて良かった。

今回共有したノウハウをもとに、三重県全体の海外への情報発信力が高まり、サミット開催後のインバウンドや県産品の販売増加につながることを期待します。

◎伊勢志摩サミット記録誌を刊行しました

伊勢志摩サミットの記憶を後世に引き継ぐとともに、サミット後の県や市町の施策展開、民間企業等の取組に役立てていただくため、サミットの準備段階から開催経過、県民会議や市町の取組などを編纂し、記録誌として刊行しました。

記録誌は、県民会議へご支援いただいた方々や、学校、図書館などにもお送りしています。

NPOやボランティア、自治会等の各種団体や有志の方々が記録誌を地域の活動等に活用される場合は、事務局へ申し込みいただければ、記録誌をお送りします。

○記録誌の内容や申込方法等詳細はこちら ⇒ <http://www.pref.mie.lg.jp/SUMMIT/HP/m0138500016.htm>